

レファレンス コーナー

マイクロフィルム 瞥見

池田 一基

昨年五月から本年三月の間に一六八タイトル、二一四一リールのマイクロフィルム資料を整理した。それぞれ特徴があつて全部紹介したいのは山々であるが、そのうち特に資料的な価値が高いと思われるものを三点紹介する。

まず第一にあげたいのは、一八八〇年代から一九二〇年代にかけて英領ビルマで実施された地租の設定に関する記録文書をマイクロフィルム化したものである。英国植民地当局は、いわゆる「セツルメント・レポート」と呼ばれるこれらの文書を作成することによって国庫歳入の基礎を確定し、ビルマ農業の基本的なデータを整備した。

第二次世界大戦後の独立ビルマ（ミャンマー）政府は、現在に至るまでこの種の農業に関する全国的かつ統一的な調査を行っていない。し

たがつて、この「セツルメント・レポート」はデータとしては古いが、ビルマ農業の研究を行うに際しては依然として最も基礎的、包括的な資料である。

これらのレポートをほぼ完全に所蔵しているのは英国のブリティッシュ・ライブラリーのオリエンタル＆インディア・オフィス・コレクションのみである。日本におけるビルマ農業史研究に些かでも貢献するため、当図書館はブリティッシュ・ライブラリーに直接申し込んで複製マイクロフィルムを購入した。

全七四リールという大部なものであるが、一リールに二、三件のレポートが含まれている。すべてOPAC検索が可能なので、試みにBurma (Myanmar), Land tax, Tax revenues, Agriculture, Settlement reportsなどの件名を掛け合わせて検索された。また、タイトルにIndia Office Recordsなり、具体的な地区 (district) 名なりを入れても検索できる。

次に紹介するのは、ジョン・M・エコルズ・コレクションのなかのツール・スレン・ファイルである。これはボル・ポト政権時代のカンボジアにおける政治犯収容所であったツール・スレン刑務所に関する文書類を集大成したもので、米国コーネル大学図書館所有の同コレクションの一部である。これも同様に当図書館から同大学図書館にマイクロフィルムでの複製を依頼して購入した。全

二〇ハリールにわたる膨大なものである。

同コレクションのなかではベトナム戦争に関する文書類が知られているが、ツール・スレン・ファイルもそれに匹敵する質量と聞いている。添付されている索引によれば、内容は Confessions, Materials in the cabinets including Khmer Rouge periodicals, Foreigners confessions などからなっているようである。ただし、表題や Confessions の人名や年齢、性別以外はカンボジア語で書かれているので、具体的な内容はまったくわからない。とはいえ、カンボジア研究者にとっては貴重な資料であらう。

三番目は "Annual departmental reports relating to Nigeria and British Cameroons, 1887-1960" という一七三リールにも及ぶ資料を紹介する。

これは特注品であった前二点とは異なり、英国ヨークシャー州の EP Microform Ltd. というマイクロフィルム製作会社が発売した既製品を購入したものである。内容は Administration, Finance, Judicial and police, Natural resources, Transport and public works, Communications and post office savings, Commerce, Miscellaneous, British Cameroons という構成になっている。

ナイジェリアは一五世紀にポルトガル人が進出して以来、ヨーロッパ商人が盛んに奴隷貿易を行っていた。一九世紀初頭に英国が奴隷貿易を禁

止し、取締りを強化するにつれて英国支配は決定的なものになり、一九一四年に英国の保護領下に置かれた。第一次世界大戦後の民族主義の高まりはナイジェリアにおいても例外ではなく、第二次世界大戦を契機に独立運動という明確な形を取るに至る。紆余曲折を経て英国から独立を果たしたのは一九六〇年一月一日であった。

一方、カメルーンは一九世紀末にドイツの保護領となった後、一九二二年に分割されて東カメルーンがフランス領、ナイジェリアに隣接する西カメルーンが英国領となった。第二次世界大戦後の民族主義運動は、目標として独立と東西カメルーンの統合を掲げた。しかし、西カメルーンは北部がナイジェリアと合併し、南部だけが一九六一年一月に独立し、東カメルーンのカメルーン共和国と共にカメルーン連邦共和国を形成した。

以上、一九世紀末から一九六〇年前後のナイジェリア、カメルーン情勢は、植民地行政府の記録文書や本国政府への報告書を網羅した本マイクロフィルムによってたどることができよう。広くアフリカ研究者のご利用をお待ちする。

最後に、この度のマイクロフィルム整理にご協力下さった北川満美子さん、宮澤啓太さん、鯉谷英子さんに篤く御礼申し上げる。

(いけだ かずもと／図書館図書整備課主任)